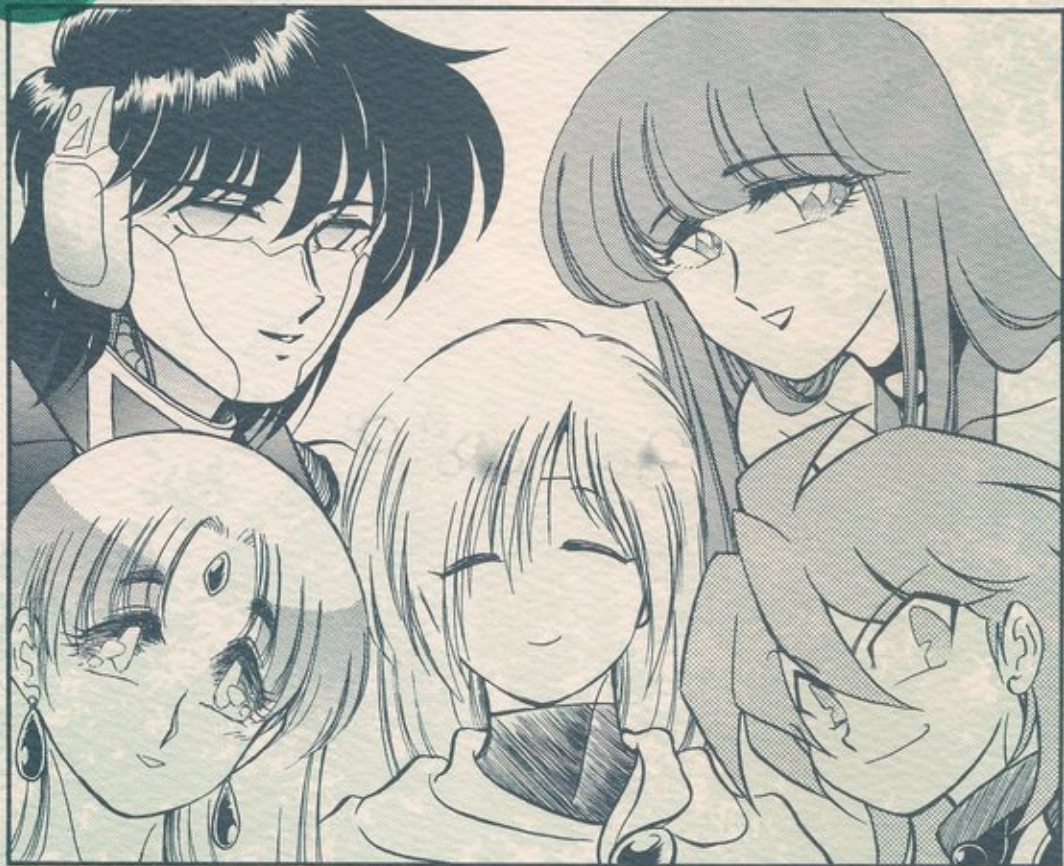


PHANTASY STAR ALL!! 15

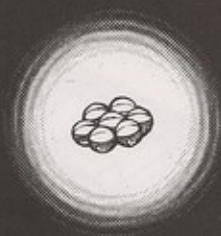


最終戦争伝説 FINAL

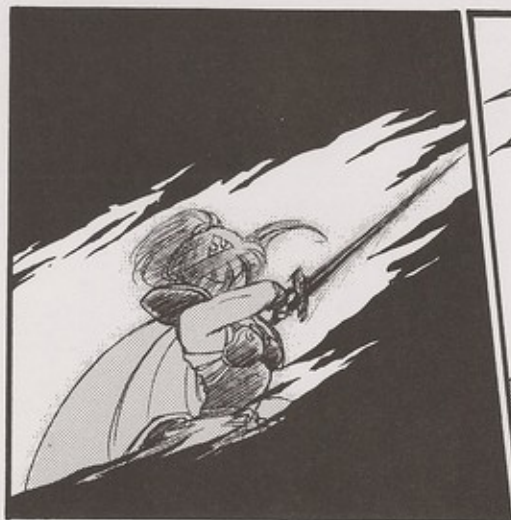
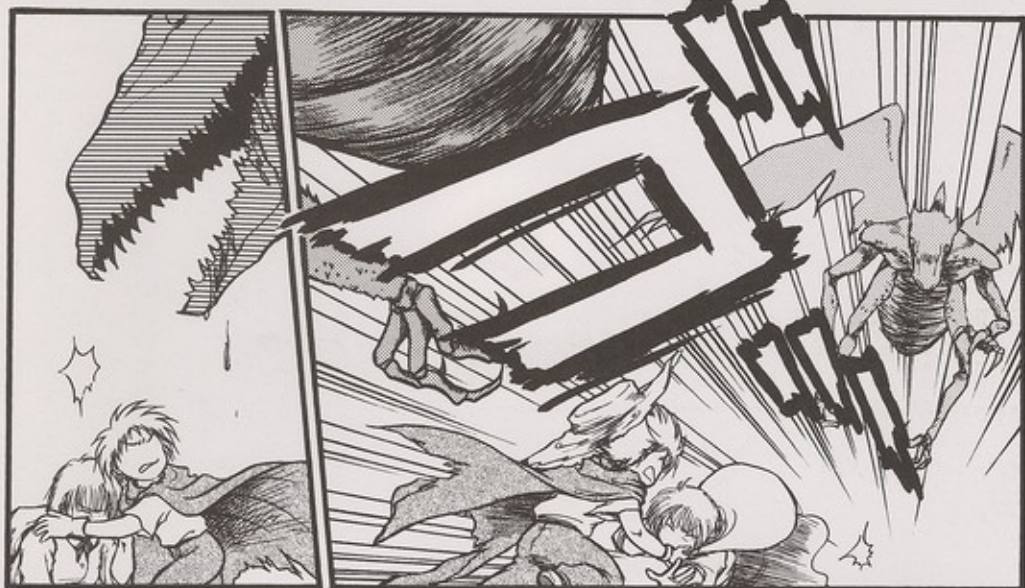
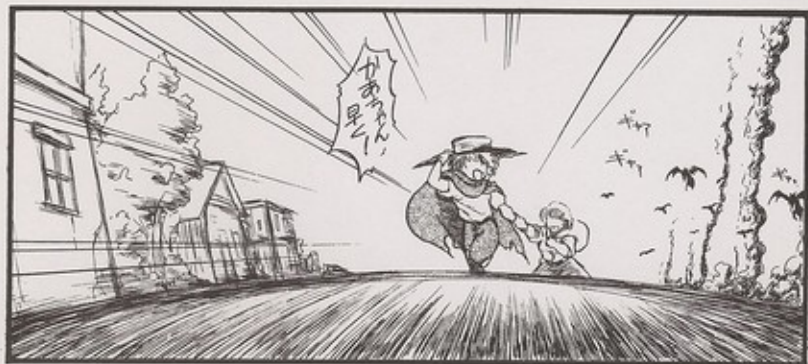
☆まんが同好会ぶんせん☆



これが私達の世界……
ちっぽけで儚い……



今にも壊れてしまいそうな
この船の上で、私達は



リン様!

無事か!?



ヤータは
彼らで最後です

近隣住民の
避難は
これで完了

森の騎士団、
山の騎士団は
城下町境界にて
敵襲に備えよ!

御意!

湖の騎士団は
城内にて
避難民の
救援にあたれ!

御意!



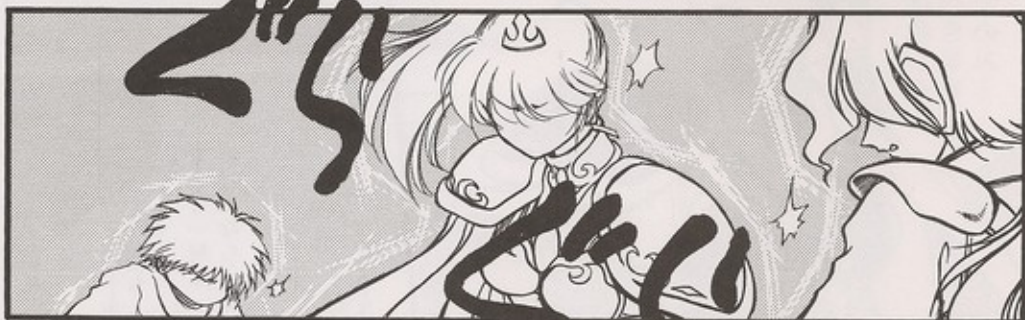
よろしい

各騎士団長に伝令!
これより
防御ラインを下げる!

陛下!

サテラ
移住団から
旧サテラ城内に
避難を終えたと
連絡が
入りました

そうか!





地震の頻度が
上がっている
ようだな…

リン様、
これは
やはり

そうだ。
何か巨大なもの
目覚めようと
している…



シンの奴…

お前の話、
悪い方に
当たってしまった
いるようだ

今まで潜伏し、
陰で蠢いていたものが
一挙に溢れ出ようと
している



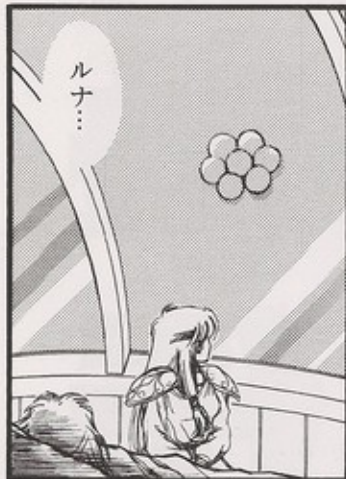
サテラに
行った者達は
後悔していた…
シン王子を
行かせて
しまった事に

だが今！
この災厄の時
かえらぬ過去を
嘆くは許されん！

我ら是我らの
やるべき事を
果たすのみ！

私も
せめて一緒に
行けたなら…と

陛下！
リン様



もしも
私の声が
聞こえるの
なら

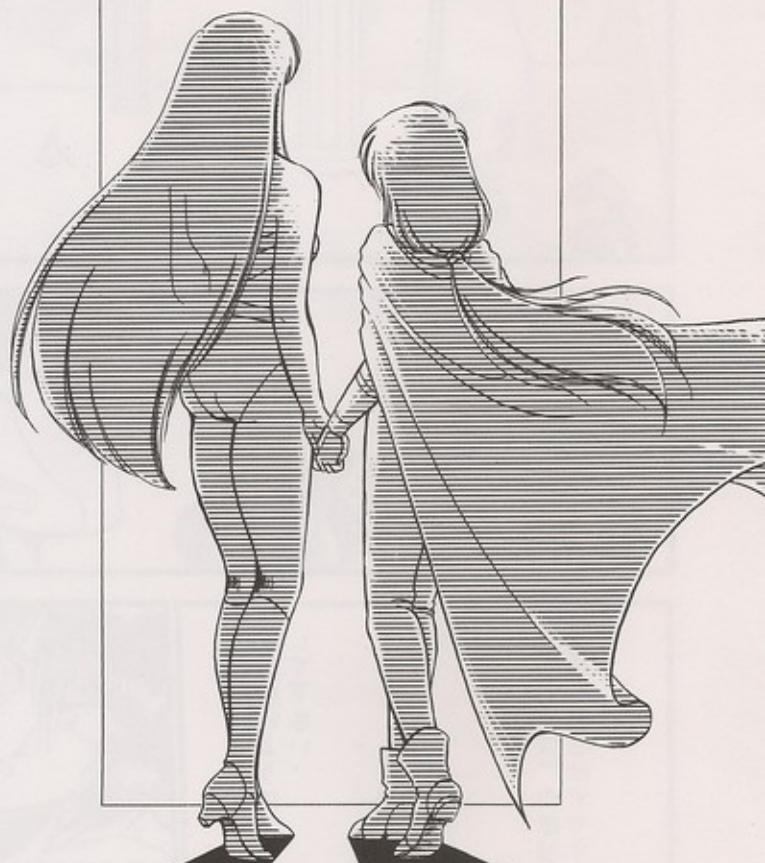
最終戦争伝説

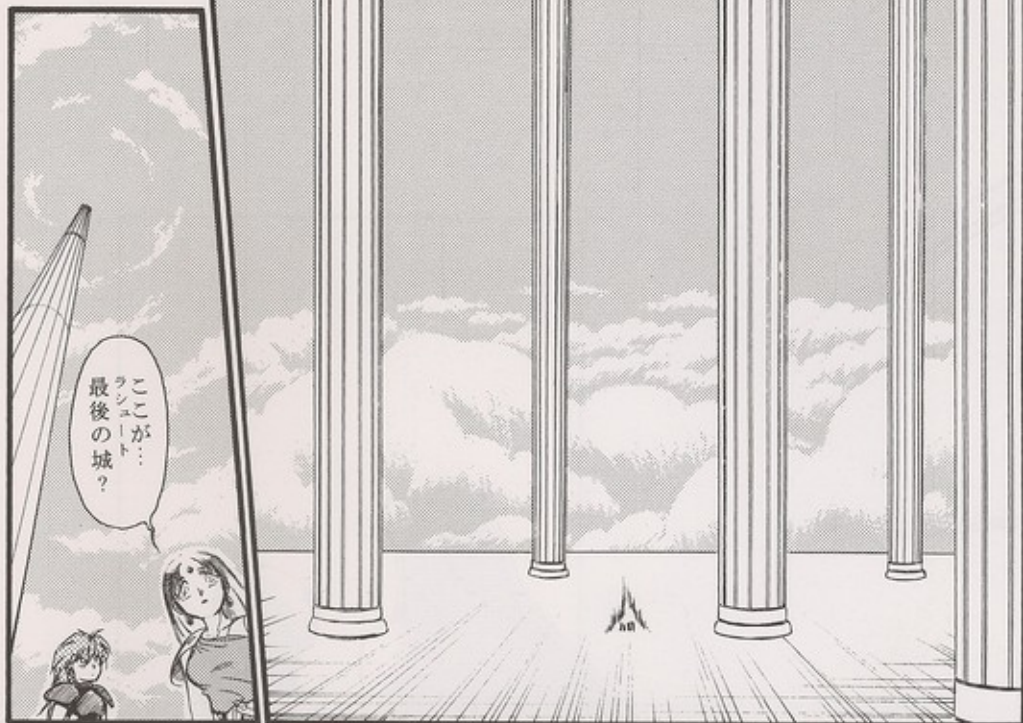
最終話・時の継承者

還っておいで
あるべき場所へ



かえっ
ておいで





「ネイ」の力が…

「器」は
私だったんです
シーン様。

私が造られたのも、
ケイン様と出会い
皆様に
お仕えしてきたのも

みんな
そういう…

シーン様

違う！
絶対

ミューは
そんなんじや
ない！！

いいえ、
その通り
！！

「邪悪の城」
ラシュートへ
ようこそ、
時の継承者

そして

やっといらして
下さいましたのね
「闇の王子」……

お前……

敵か!?

かつて
マリーナの
記憶を奪い
リークへ
送り届けたのは
私達!

お前の祖父は
マリーナを求め
まんまと
サテライトを
呼び戻して
くれた!

お陰で、
サイレンと
ルーンは目覚め
大戦争を
起こせたのだ!

き……
貴様!

黙れ!!

!!



戦争が、
全ての世界に
広がることを
恐れたライアは、
通路を閉ざして
しまった。

それを
お前の父は
次々に
開いてくれた！

ルナ

そこか！

ルナ

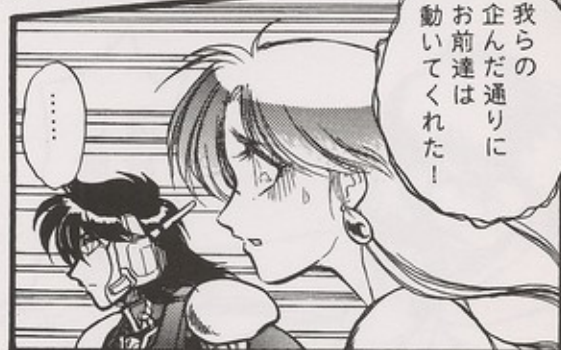
許さん！

ルナ様



お前は、我らの神
『ダークファルス』の
名前の封印を
解いてくれた！

お陰で
我らの神は
姿を現すことが
出来るように
なった。



我らの
企んだ通りに
お前達は
動いてくれた！

……

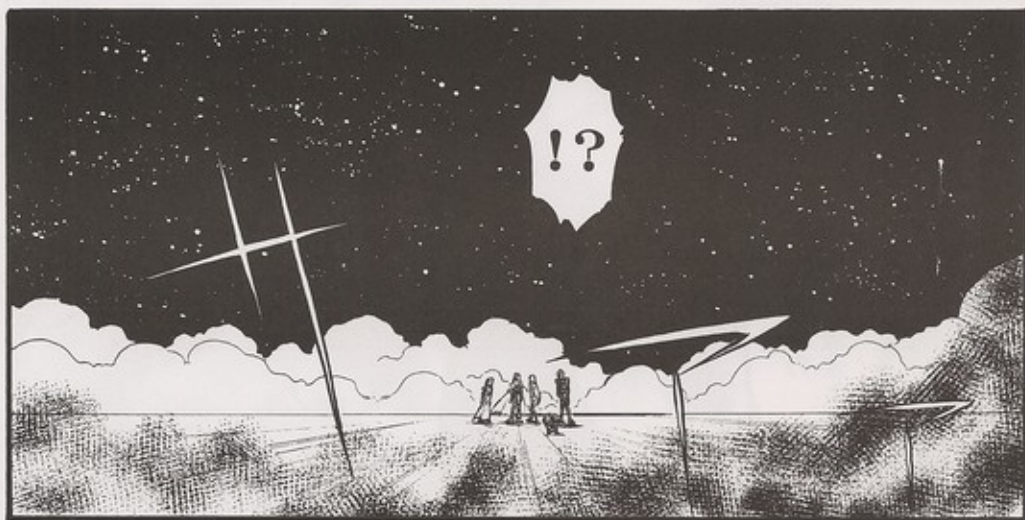


待ちやがれ！

ルナ！

自分達の愚かさと共に
滅びるが良い！









…何故、
そんなことをしたか
お前達に分かるか？



そう、我が名は
「ルラキル」
オラキオの兄。

「滅びの神」
ダークファルスに
魂を売った男だ！



滅びよ！
……と。

世界など
いらぬ！

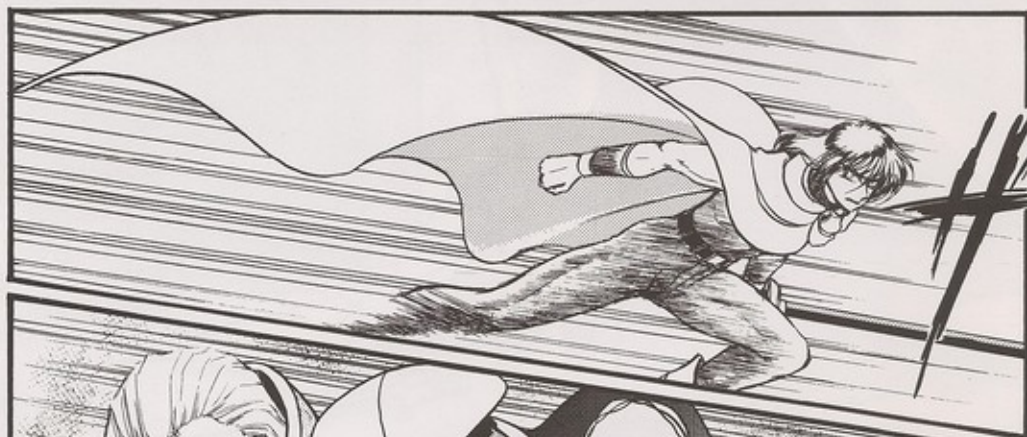


私は、千年前、
戦争によって
妻と子を失った…



…その時に
思ったのだ。





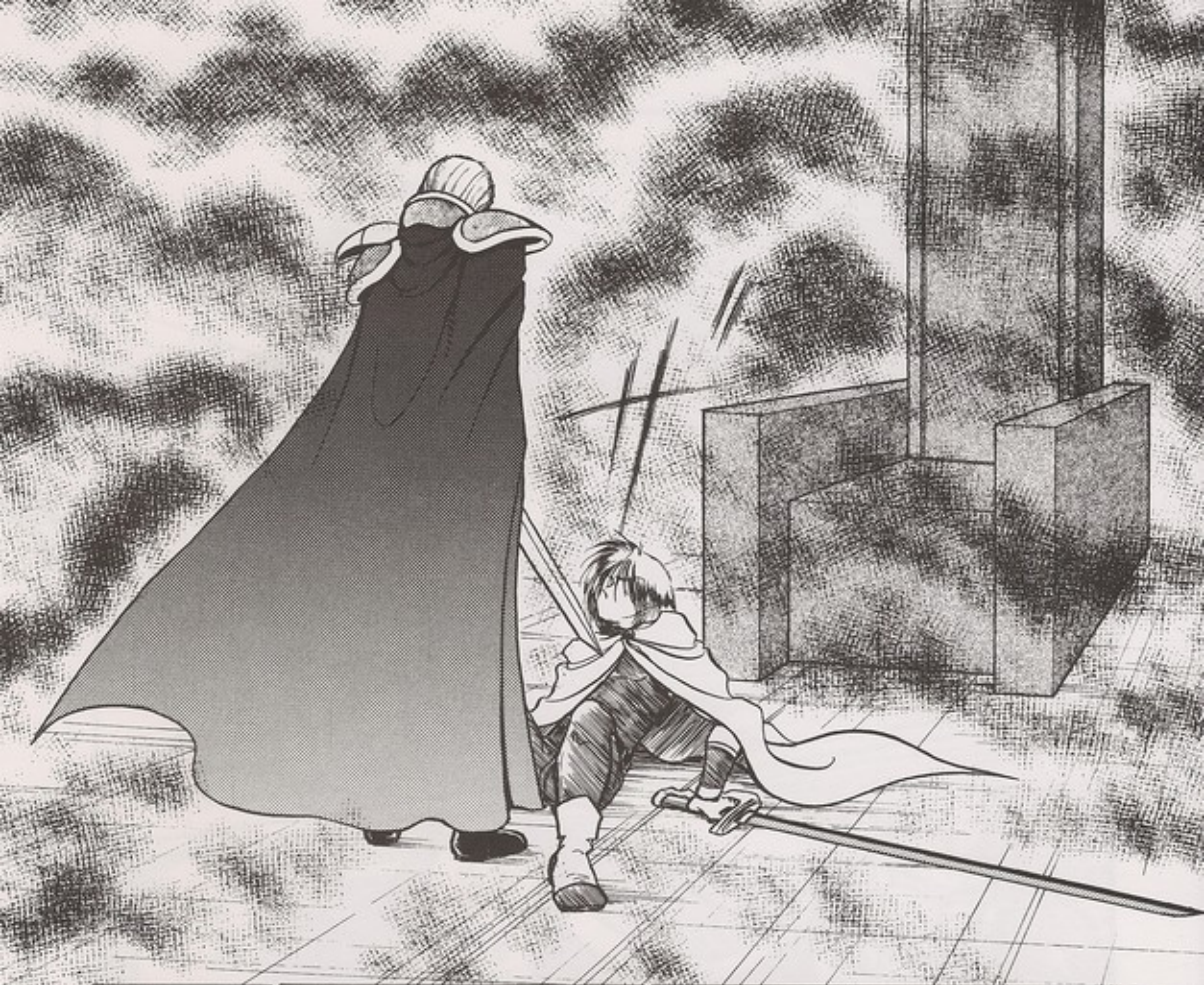
お前には
分かるまい

聞いているか
我が弟よ



などとほざく
お前には——！！

「それでも
幸福を……」



王子よ…

お前も本当は
信じてなど
いないのでは
ないか…？

苦しかろう…
今…
楽にしてやる

消えてしまえば…
この苦しみも…

お役目ご苦労様。
でもそこまでよ、
ルラキル様



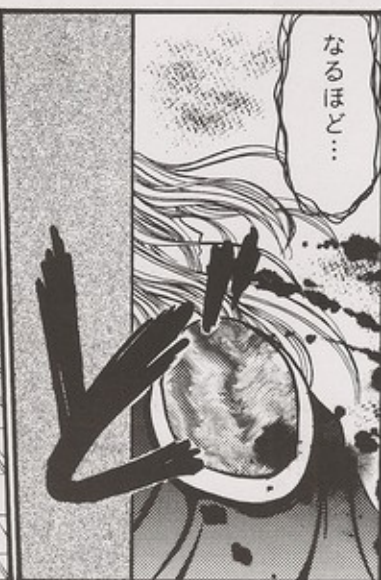


まあいい……

そういう事か……



なるほど……



幸福の存在を
信じるのか……？

僕は……

ぼ……

お前達……
それ程までに

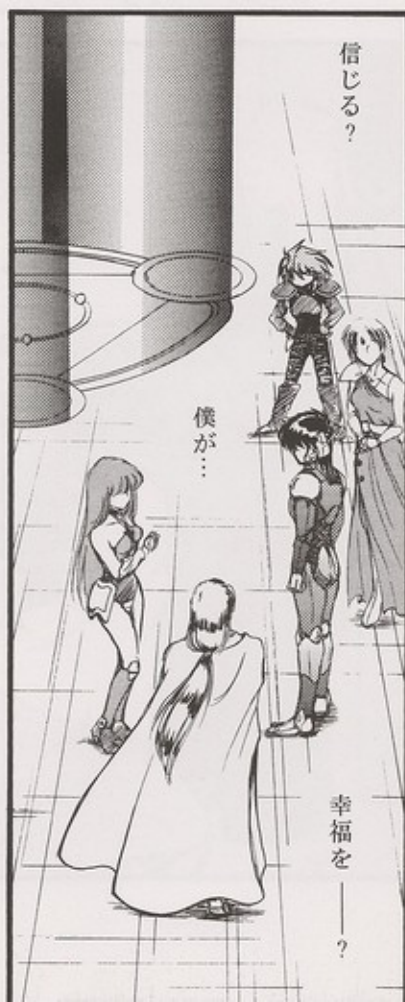
シーン！

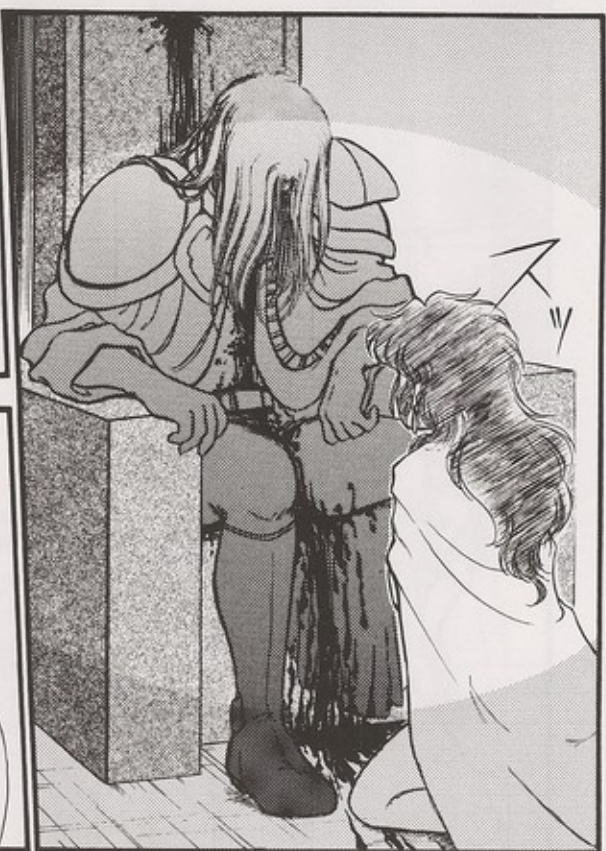
シーン様！



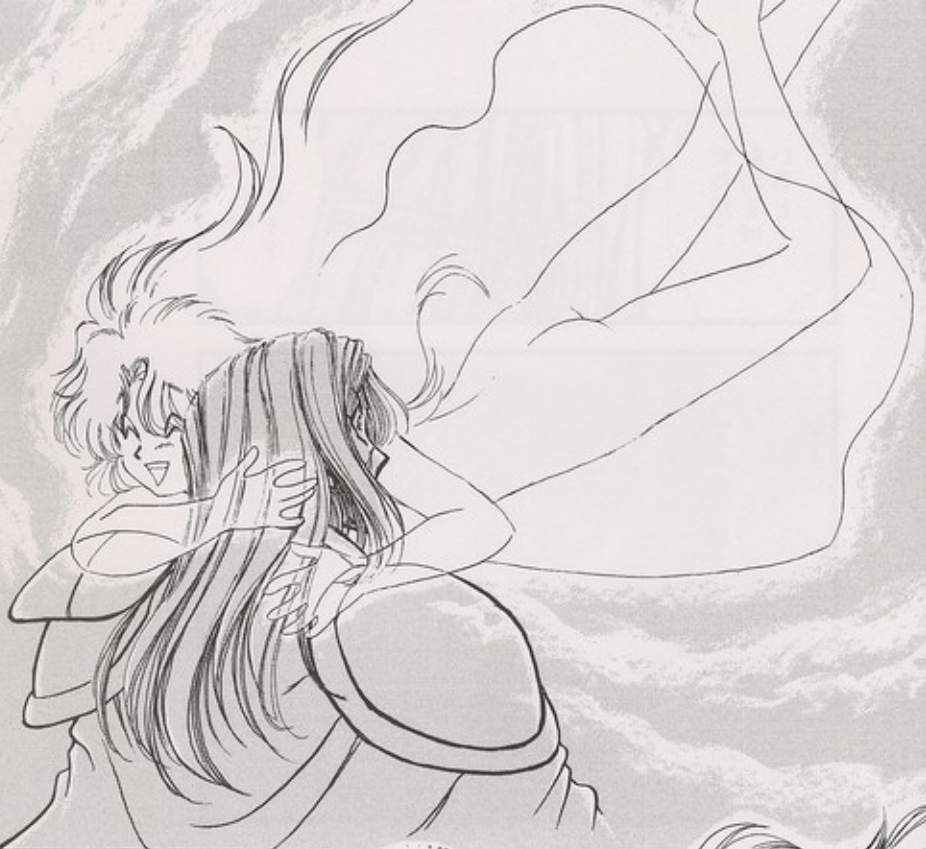
行つて邪悪の神を滅ぼすがいい……

ならば行け







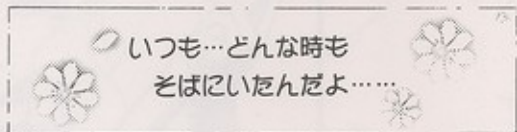


あたしが
呼んでるのに
ルラキルくんたら
いつつも別の方
見てるんだからっ

やーつと
こつち見て
くれたーつ



だめだ…！
私の手は…
私は、もう…



…ああ、

私もだ…





余計なことを
してくれたものね



もう用済みとはいえ
自分のエモノを
横取りされるのは
不愉快なものだわ

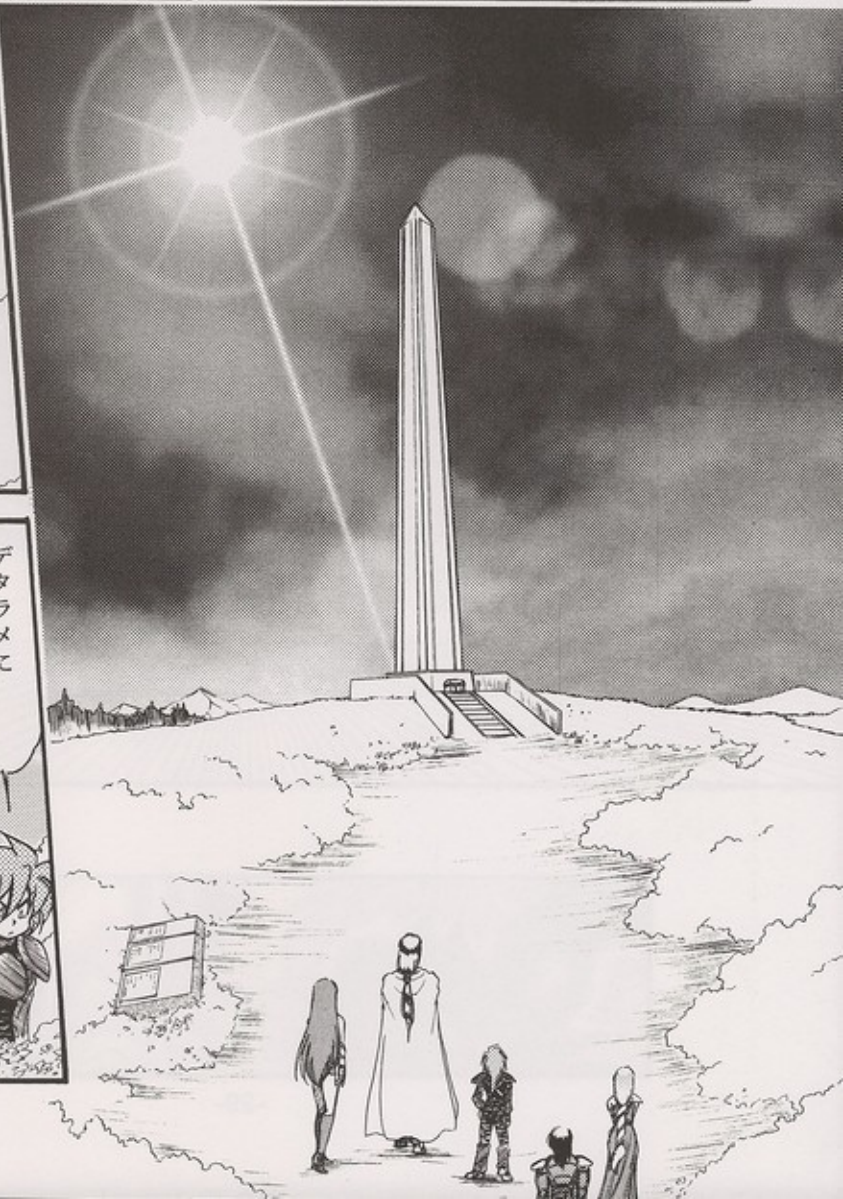
リナ：
下がっててくれ

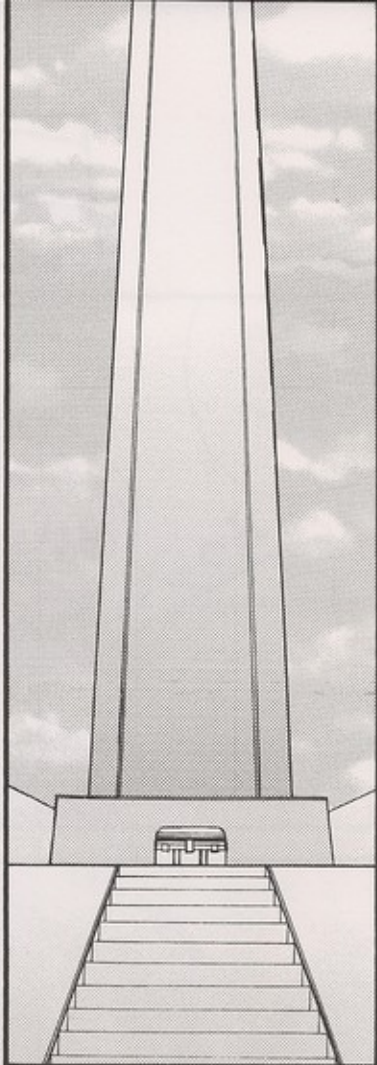


カッ
ン

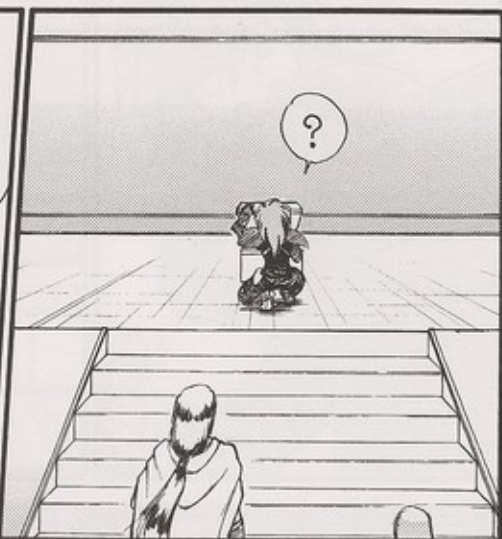








カタン...



我が名は
『ダークファルス』

滅びの為に
もたらされたもの……

アハハ

人々の
怒り、
苦しみ、
哀しみが
私の喜び

我がいる限り

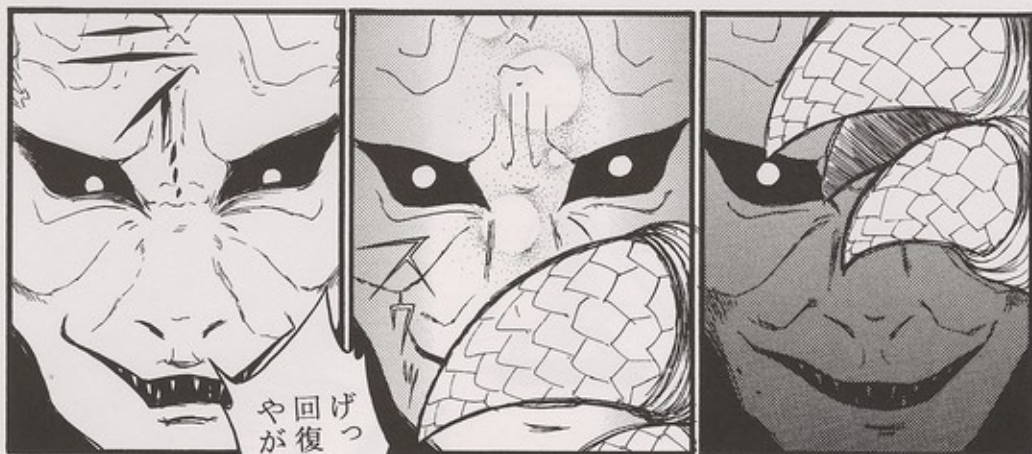
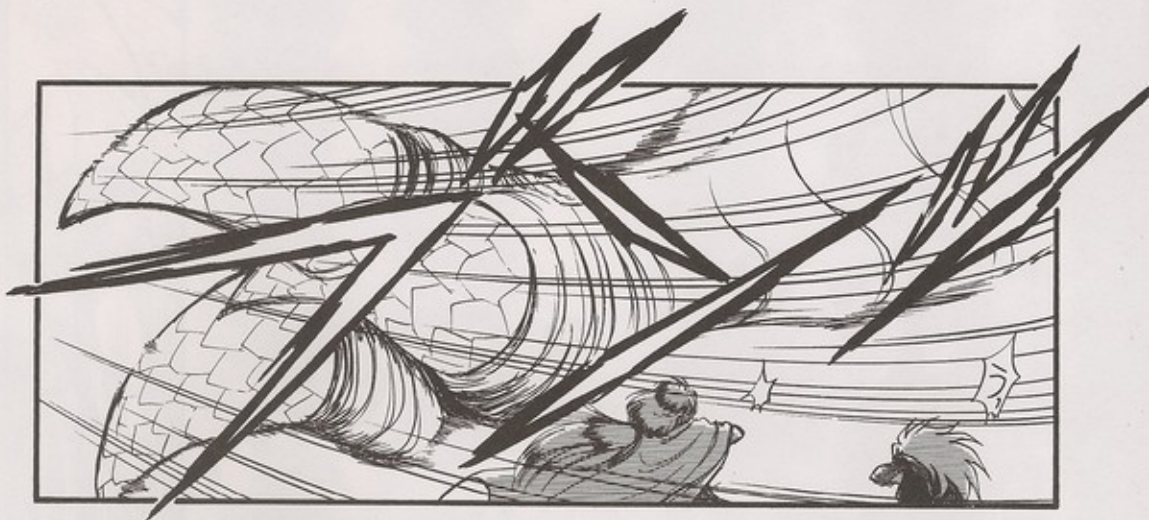
人間共に
幸福など
手に入れさせぬ！

チヤン

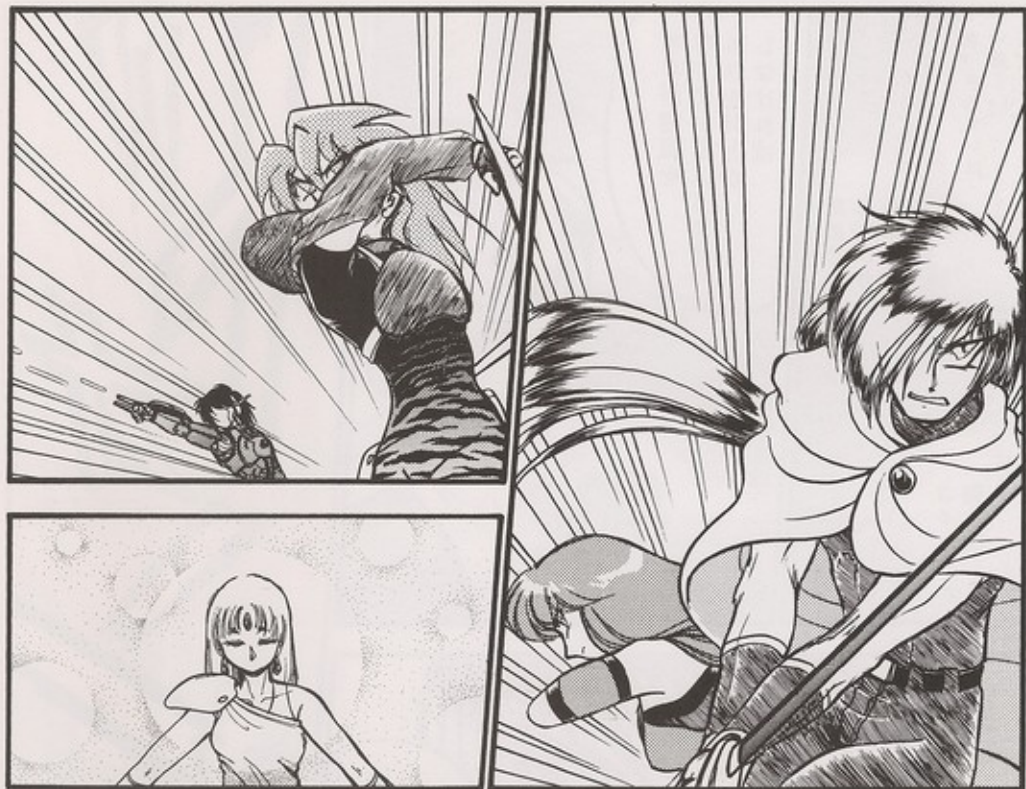
お前達も
我が腕の中で
苦しみながら
死ぬが良い！

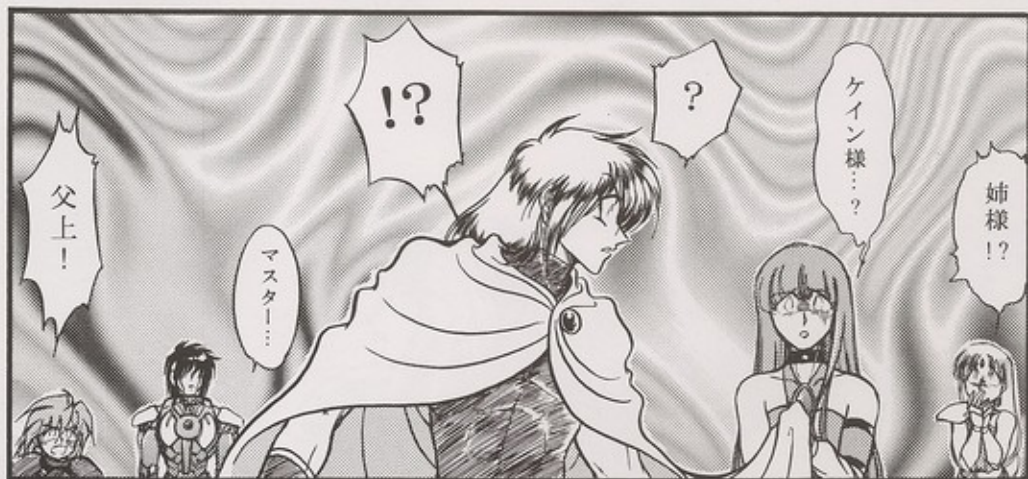
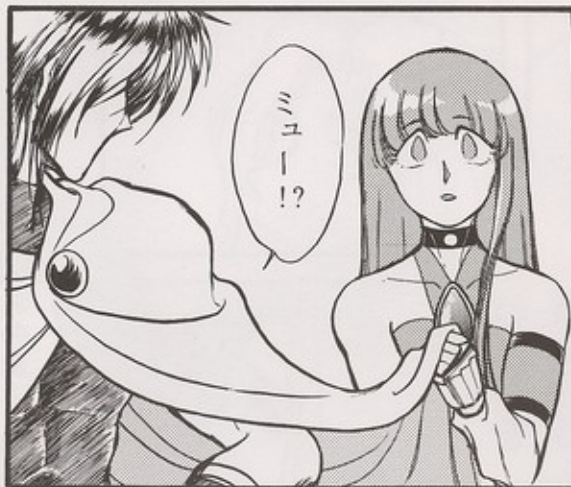








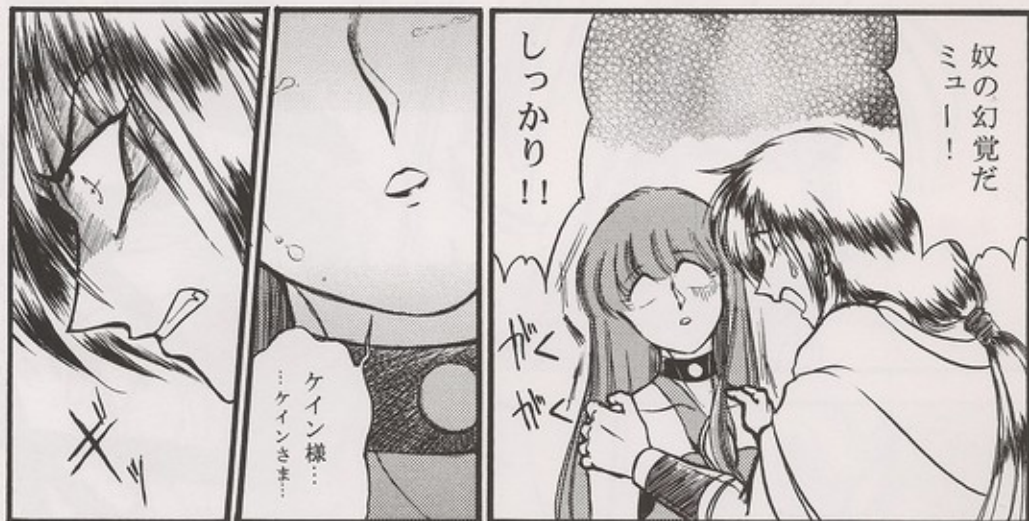






なぜ…
わたしを
傷つける…









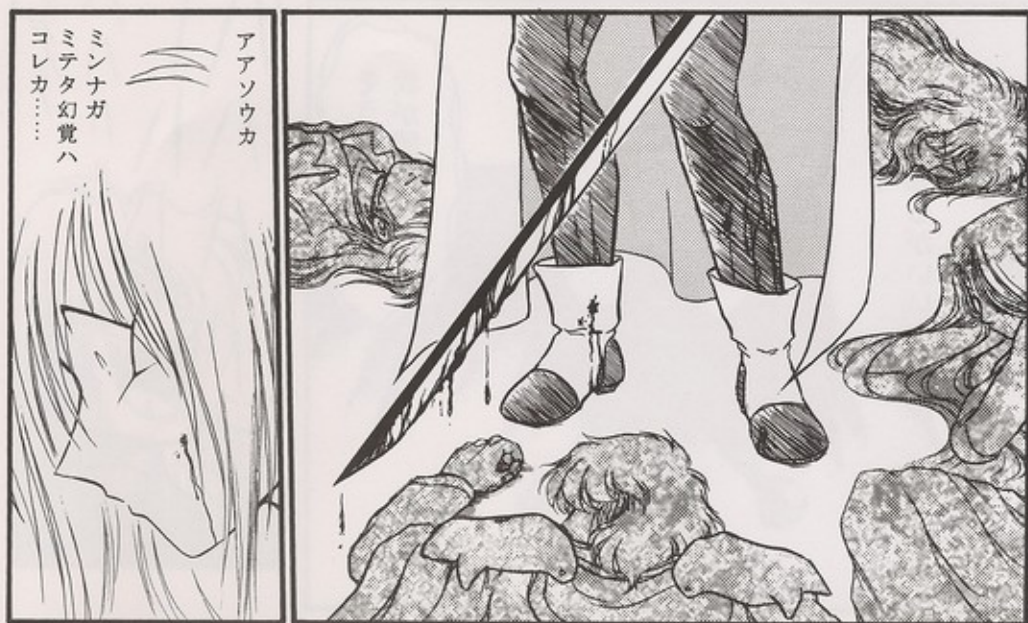
そうよ、
我が闇の王子

今こそ
思い知るがいい

お前は
我らの同類

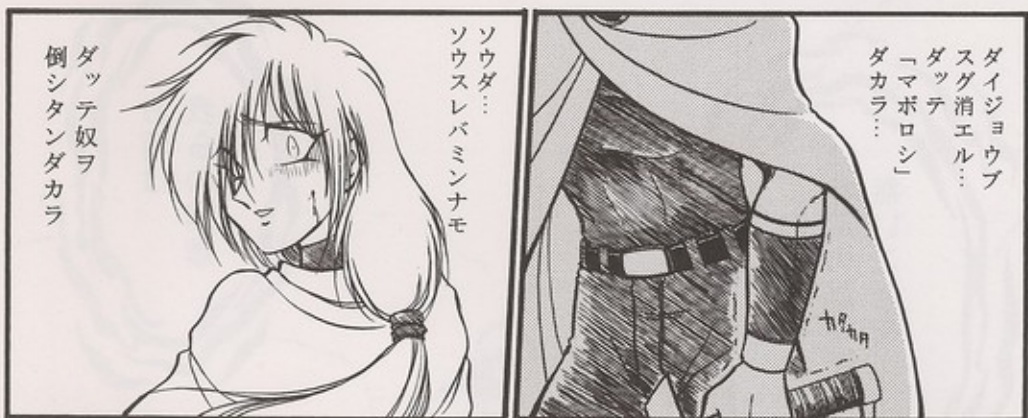
この世界に
お前の居場所など
無いことを——!!!





アアソウカ

ミンナガ
ミテタ幻覚ハ
コレカ……



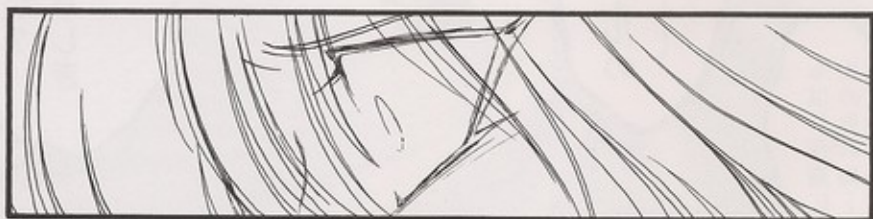
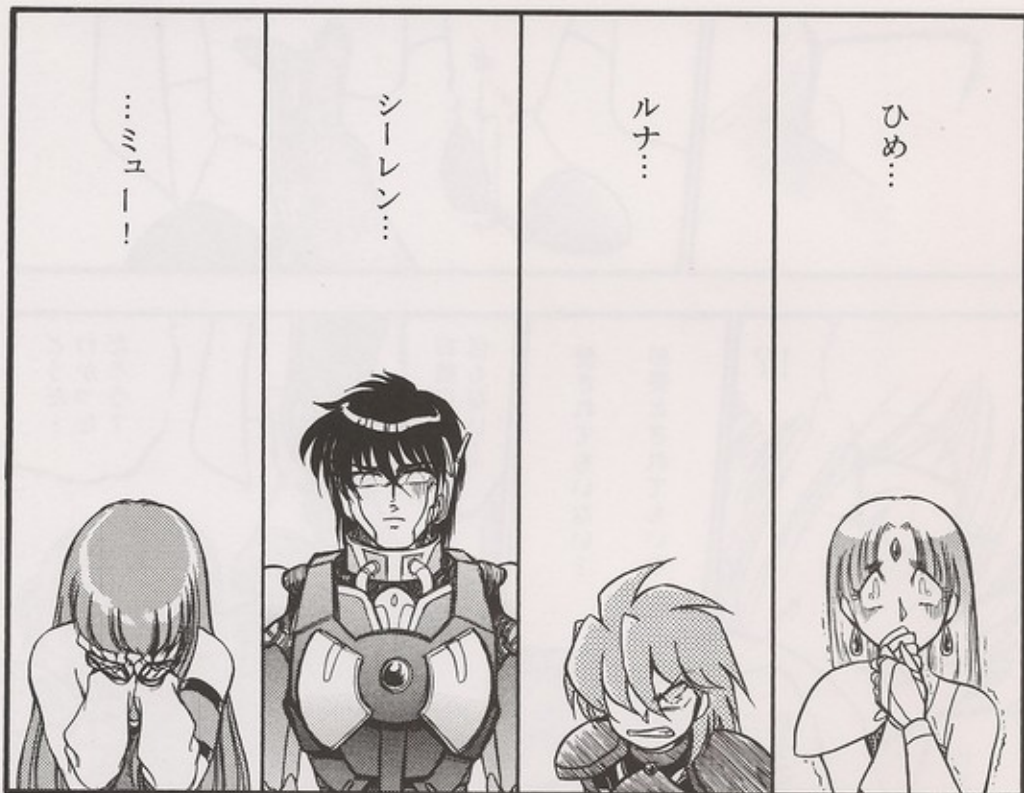
ダイジョウウブ
スグ消エル……
ダツテ
「マボロシ」
ダカラ……

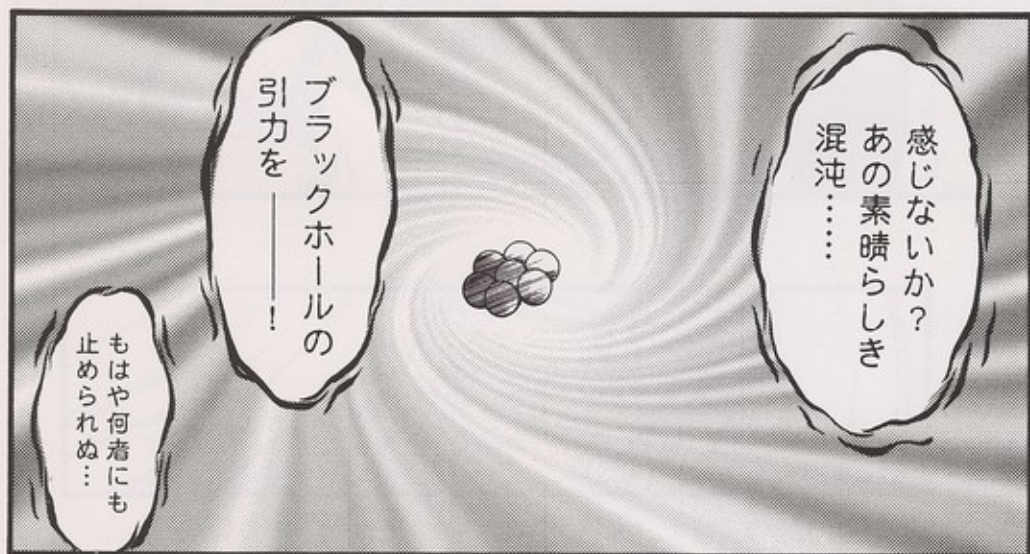
ソウダ……
ソウスレバミンナモ

ダツテ奴ヲ
倒シタ
ンダカラ

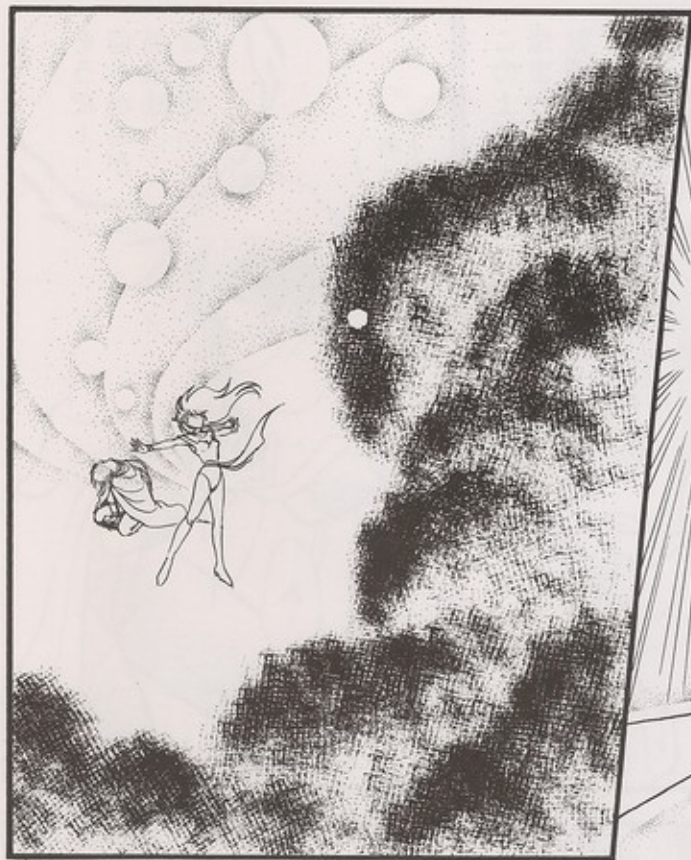


ミンナ……モ……









ダメ！



触れてはダメ！

聞へ去りなさい！

あなたを
この世界に置く
実体は
もうないわ

なるほど

では古い神は消えるでしょう…

滅びこそ我が望みなれば

だが…

キララ

クククククク

ハハハハハハ！

『ネイ』よ

それで
そやつを
救った
つもりか!?

後を見るがいい

今こそ
新たな闇の神の
誕生だ……!!!



何もかもが無駄だった

昔しみも――

哀しみも――

いのちも――

ルラキル……
あなたが
残るべきだった

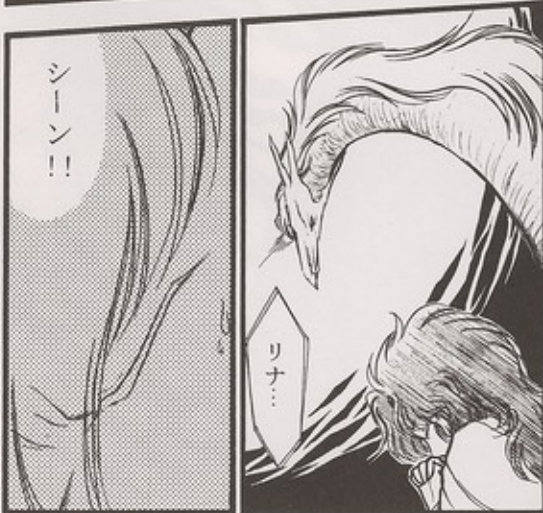
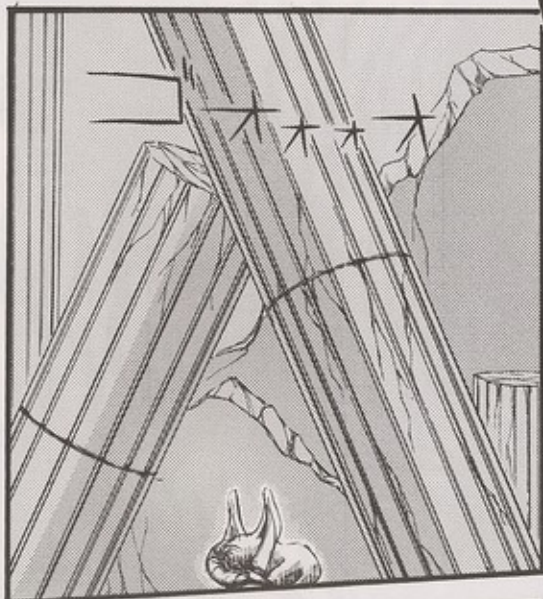
僕にはもう信じられないから……

……何もかも……

メギド

消えて…しまえば…







もしも
私達の声が
届くの
なら——
!!

シーン様が
呼んでる…

ひゅく

シーン様？

泣いて
いるわ…

気が付き
ましたか
ミュー。

シーレン
これは…

シーン様の
力の暴発に
巻き込まれたのです

シーン様の？

!!

なんて事……!

私……
わたしっ

……っ!

しっかりするので、ミューー
今こそ私達の役目を果たす時……!

私の役目は守る事：
オラキオの一族、時の継承者、
そしてミュー、あなたを。

あなたの役目は伝える事：
光の意志をその身に宿し、
伝える「光の器」――

ですが
ミュー、
あなたには

もっと
重大な
使命が
あるのです。

それは、
あなた自身の
「意志」こころを伝える事。

あなたには
聞こえて
いるはず
です。
シーンの
呼ぶ声
が……

行って
私達の心
を……
あなたの
心を
伝えて
下さい。

行って
下さい
ミュー、
シーンの
元へ。

でも
私は……

ミュウ！

私は
あの時、
シーン様を

ミュウ様……
私達が
千年をかけて
学んだ事……

それは、
過ちを正す
勇気ですわ

ライア様

言いたい事は
言つとちゃんと
死んでも
死にきれん

言つてやれよ
シーンに！

ルナ様

シーレン……

ここは
くらくてつめたい…

シーン様

《こんとん》
ここがほくのいばしょ…

シーン様

ここにはほくひとりだけ…

なのに、
あるはずのない
こえがする——



ミュー!?



ク…くるな

ここに
ちかづくな!

見て、ミュー

僕だけを…

行かないで…
そばにいて…

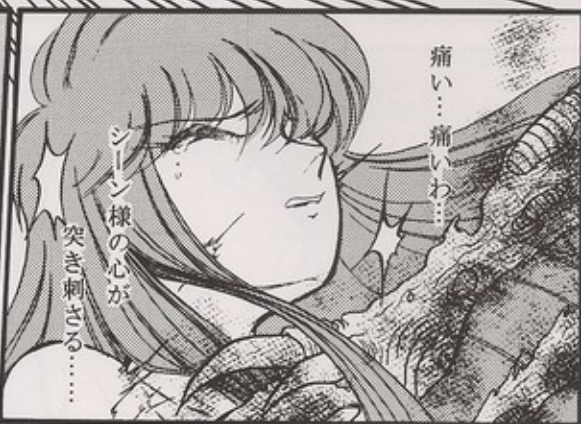
ダメだ…
…みるな!
ぼくらみるな!!

!!



気付かなかった

ああ、シーン様、
あなたはこんなにも……



痛い…痛いわ…

シーン様の心が

突き刺さる……



でも

ガク

何に折ればいいのか
わからない……



お願いです、
もうこれ以上

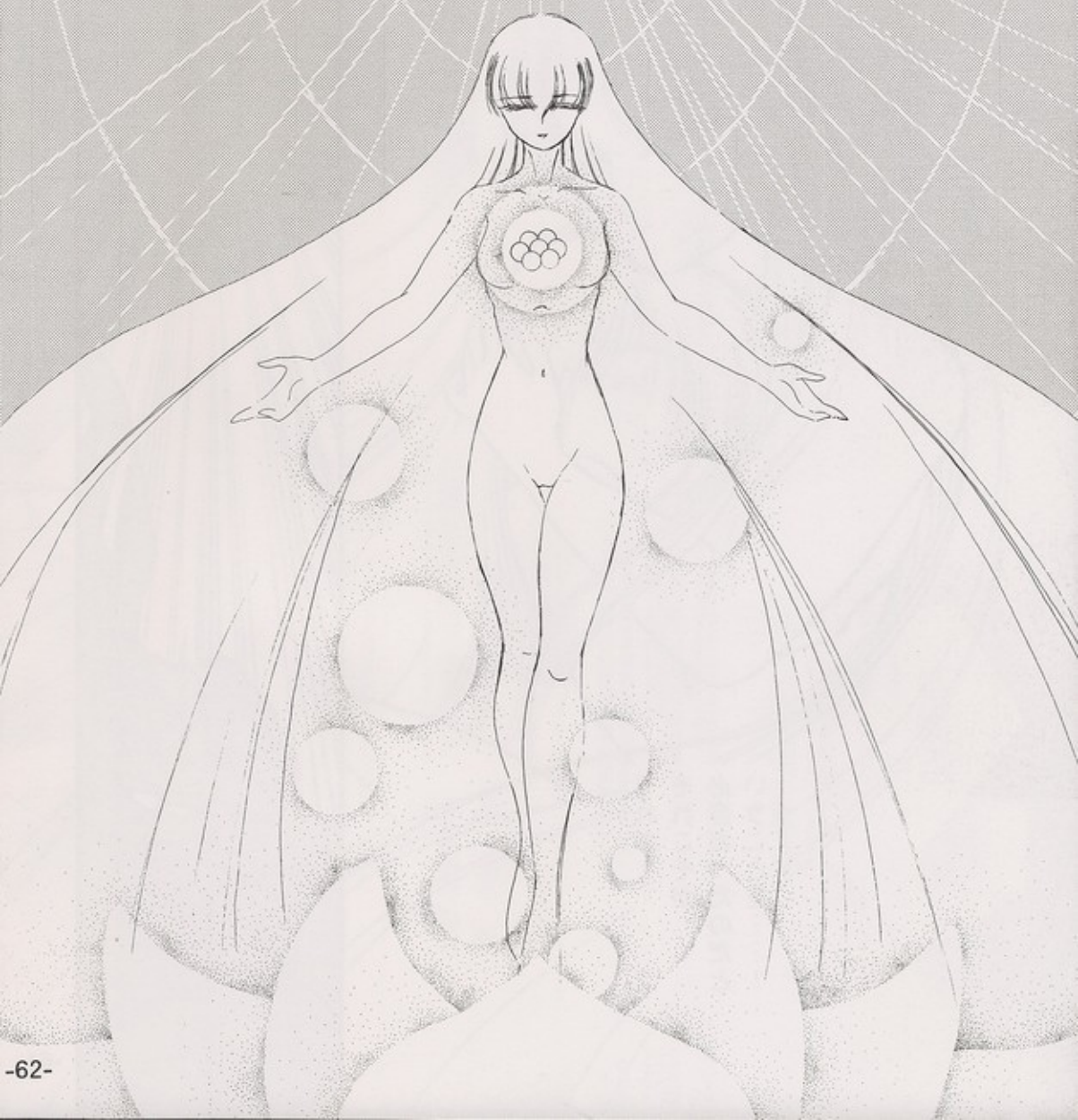
—私は無力でした
守る力も
慰めの言葉もなく、
ただ涙を流し
抱きしめるだけの—

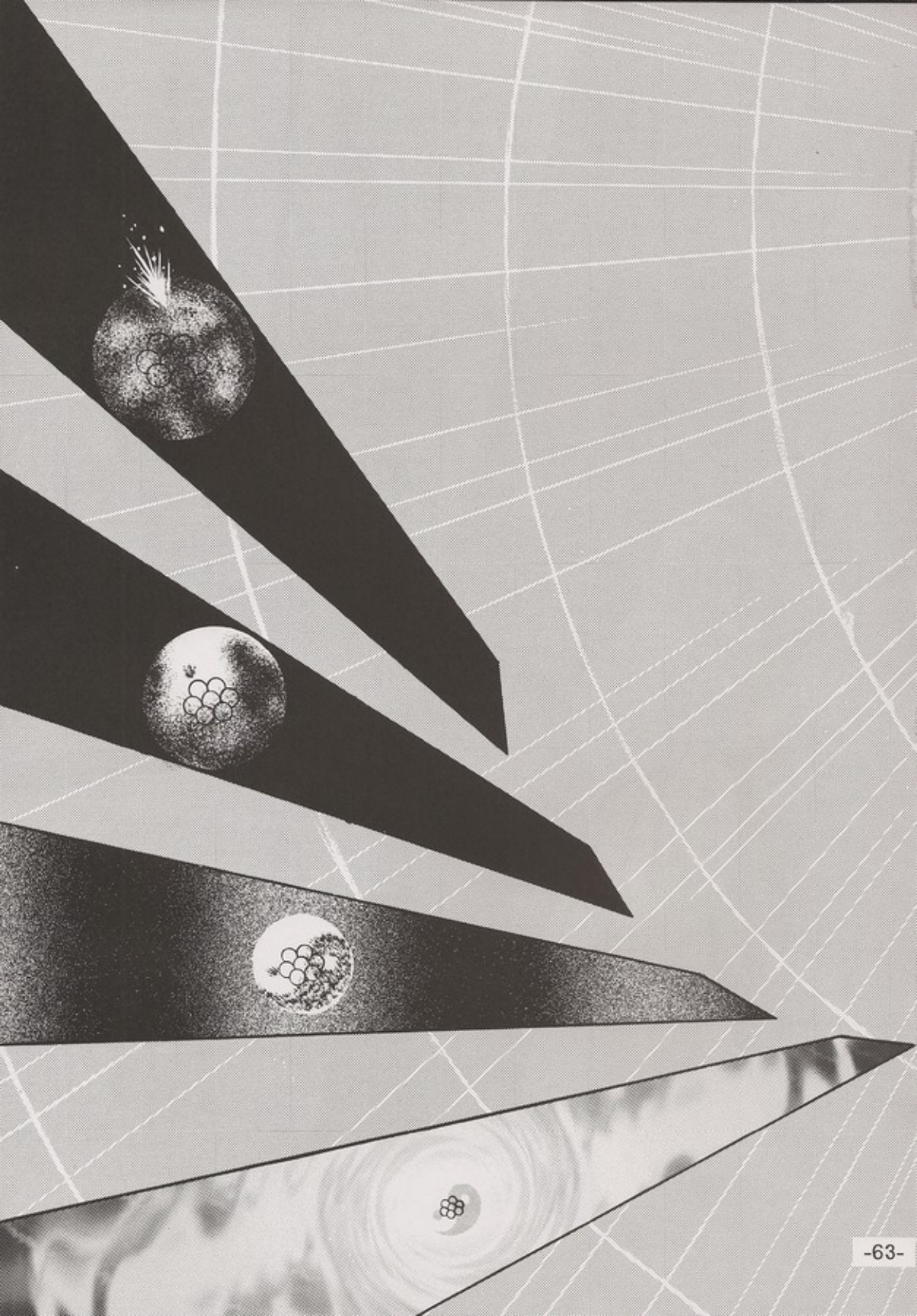
でもやっとわかったのです

それが…
それこそが
必要だったのだと
いうことを……!!

私の愛する人を
苦しめないで……!!

あなたを愛しています…
グランツ





いつもそうだ…

我らと同じ位
愚かなくせに…

我らより先に
母なる星を見捨てたくせに

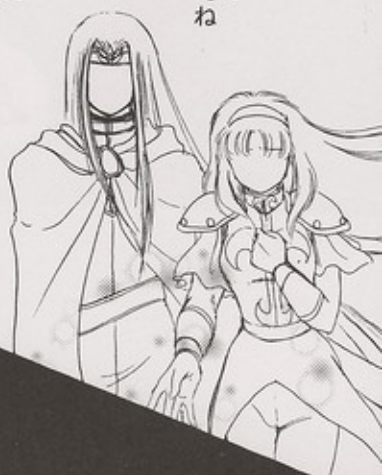
最後はいつも
お前達だけが…

闇の底で待っているよ…
お前達が再び我らを呼ぶのをね…



…私か？
ごめんだね

お前達に
救われる
くらいなら…



アリサ…

アリサ……

アリサや
私達のように

そうでなければ

グランツ
光の過負荷で
消滅してしまってた

ミューは
大丈夫だよ

あの子の体が
鋼でよかった

他の者達も
武器に宿る
心に守られて

彼らに
まかせましよう

あの子は…

だけどシーンは…

力の過剰に
巻き込まれずに
済んだようだ

シーン、
よく頑張った！

僕は…頑張ってなんかない
僕は…みんなを傷つけた

シーン、
君はみんなを
守ったんだよ

違う、僕はあんな恐ろしい…
…僕なんか、いない方が…

ほんとに？
ほんとにそう
思うんですか？

こんなにも

君を必要と
している人が
いるのに？

ああ、ミューー！

僕は、何も出来なかった

弱くて愚かで…

でもせめて…



ミューだけは
守りたかったな

もう一度、
ミューの笑う声を
聞きたいな

他に何もなくても

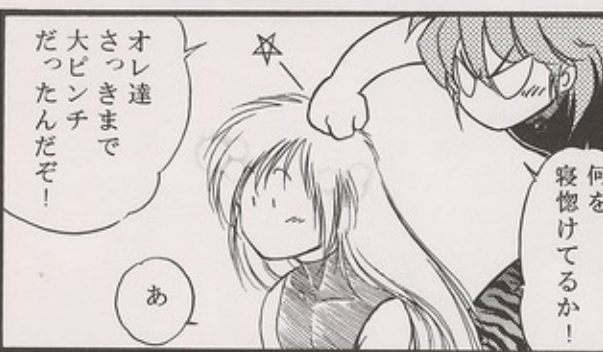
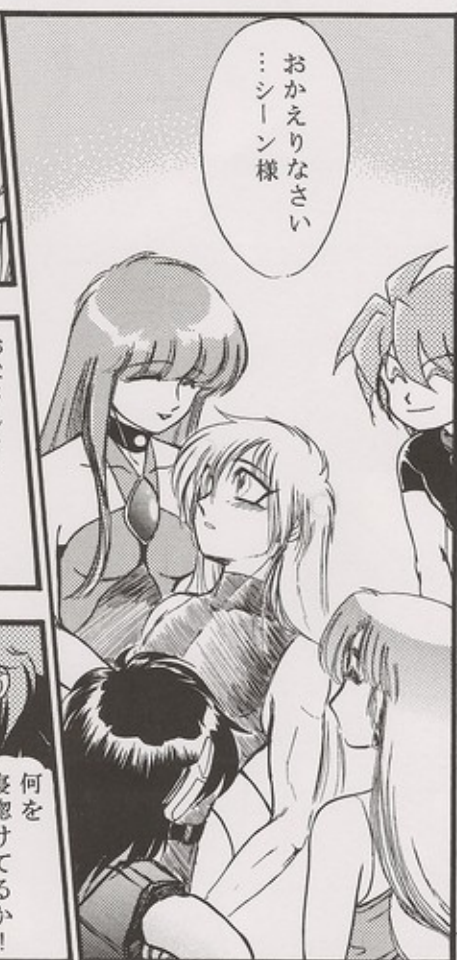
…それだけで…

それで
いいんですよ、
シーンくん

僕らの…
たったひとつの
お願いです…

幸せに…
なりなさい…

しあわせに…

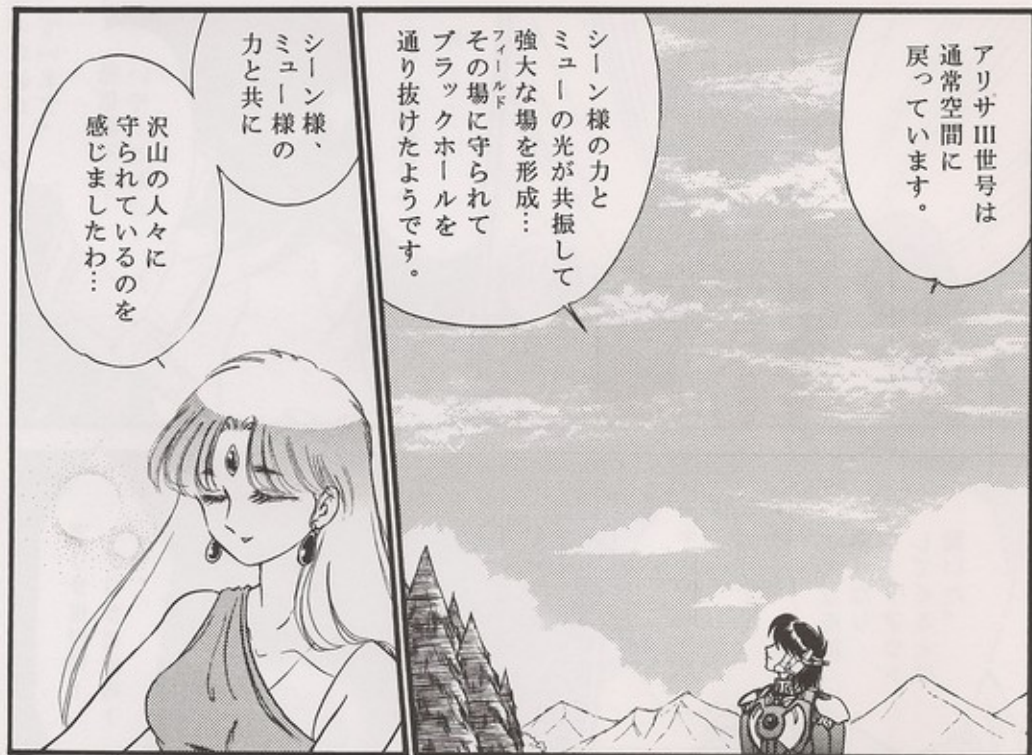


アリザ山世号は
通常空間に
戻っています。

シーン様の力と
ミューの光が共振して
強大な場を形成：
フィールド
その場に守られて
ブラックホールを
通り抜けたようです。

シーン様、
ミュー様の
力と共に

沢山の人々に
守られているのを
感じましたわ！



この船は…
私達は、
愛されて
いると…

そうだね…
そう、
だから…
僕たちは…

みんなの所へ
かえろう…



通信の電波が
入っています。

発信源不明…
いや…これは…

外…
アリサIII世号の
外………!?

音声
出します!

アリサIII世号!
…アリサIII世号!

こちら
ネオバルマ
パイロットルーム

こんな所に
いきなり
ワープアウト
してくるとは
驚いた。

ネオバルマ!?

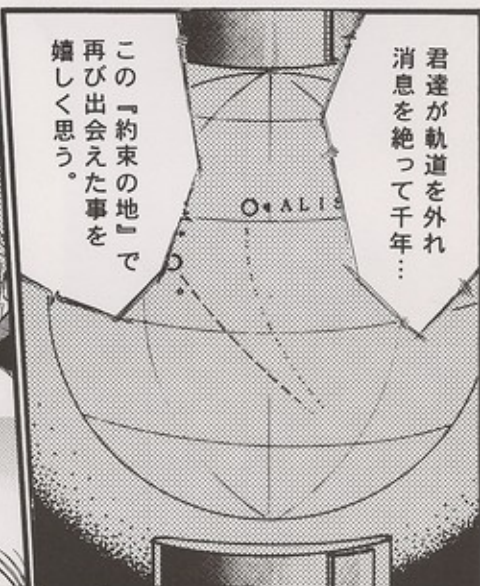
リン
おばちゃん
のお話にあつた
船ですわ…!

サテライトが
一つ消えているが…
とにかく、
無事を喜んでいる。



約束の地？

この「約束の地」で
再び出会えた事を
嬉しく思う。



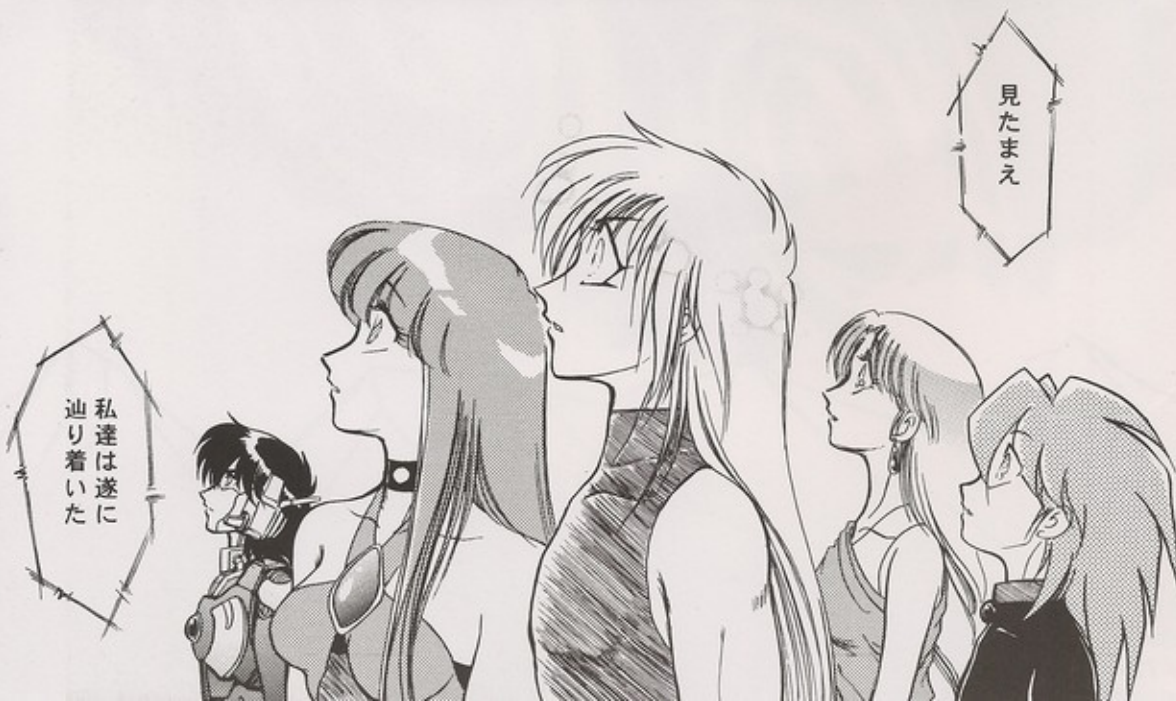
君達が軌道を外れ、
消息を絶って千年…



伝説より
遙かな過去、
私達の祖先が
アルゴルに向け
旅立った星――

二千年前
バルマを
失った時
再び私達が
目指した星――

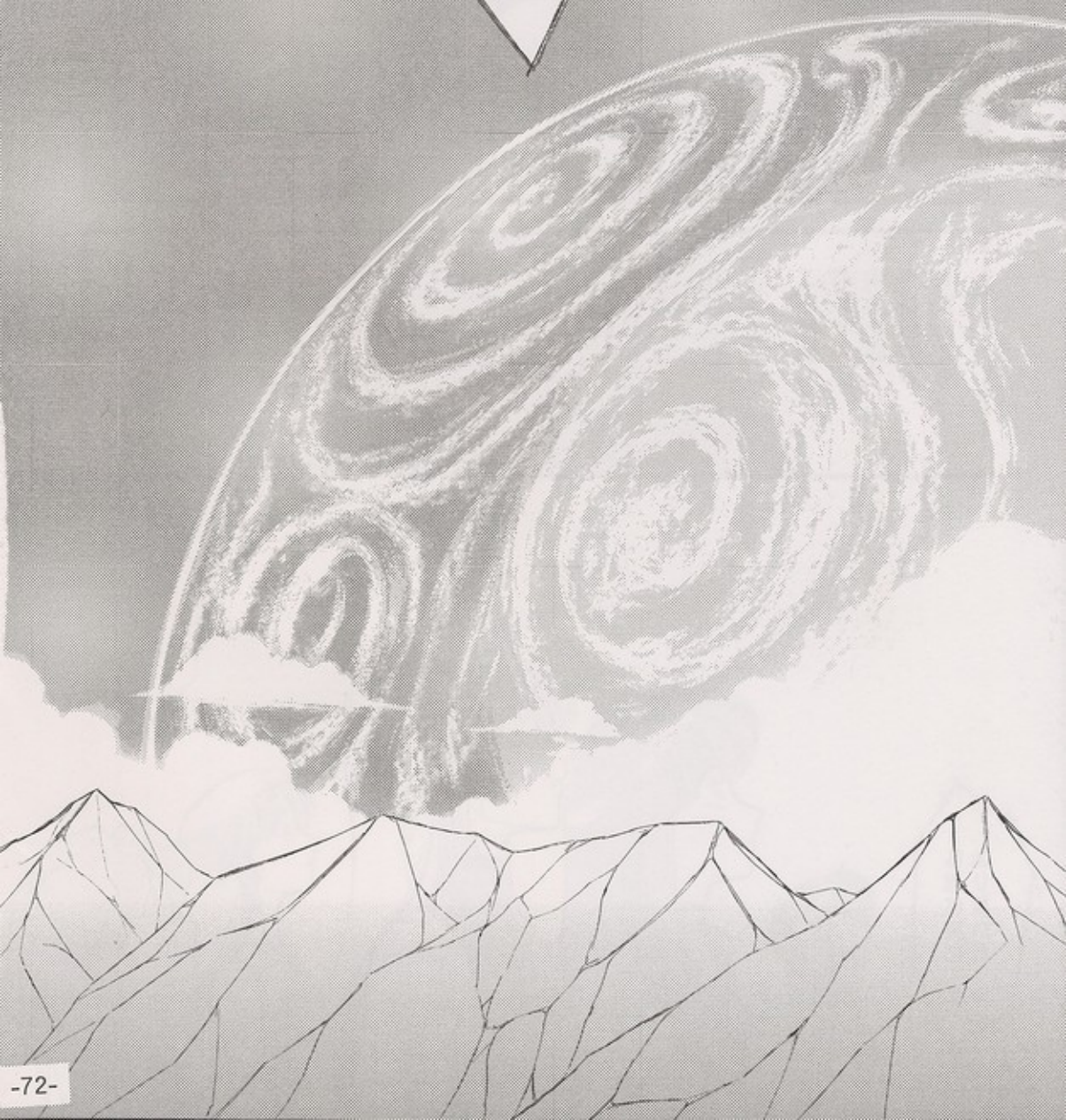
-71-



見たまえ

私達は遂に
辿り着いた

地球に

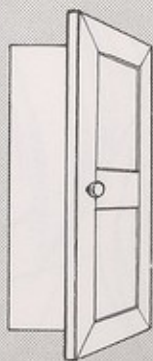


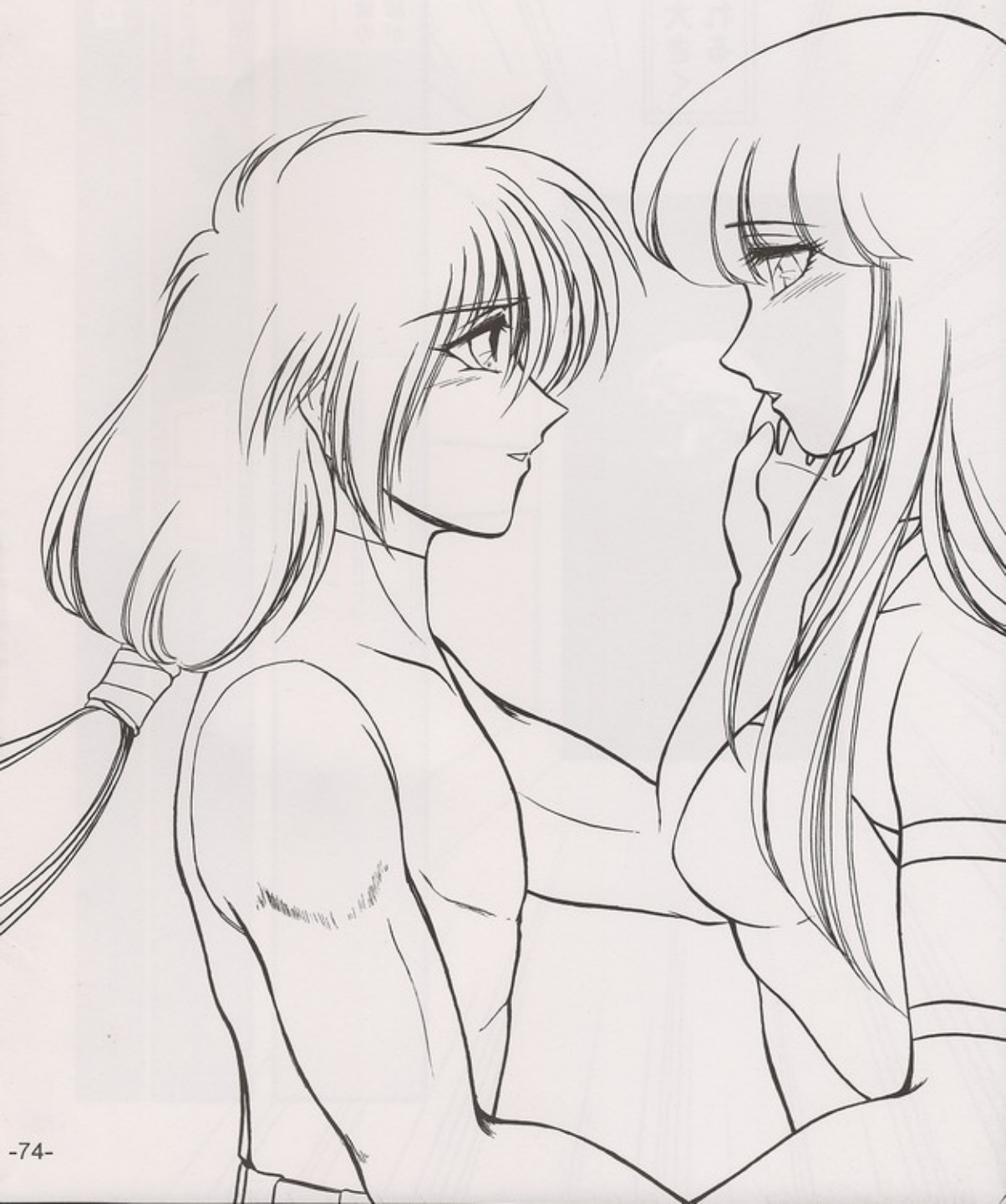
扉が開かれる

かつて閉ざされた
未来への扉

地球の—
バルマの—
アリサIII世の
時を継ぐ扉が

今、大きく
開かれる





エピローグ

遠い約束～緑なす地球の丘～





やっとお会い
できましたね
ルーン殿

しかしまた
死に損なっ
てしまいました

ええ、
リン殿

…一時は
危なかつたのだと
聞きました。

…実は、
らいるさんに
追い返され
ましてね

らいる殿に…

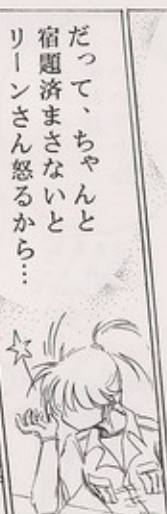
お前はまた
やる事が
残っていると

せめて娘が
エシル当主として
一人前になるまで

…私は、
ルナの父と
なったの
だから…

よっなに
話してんだ？





僕達これから
ずっと一緒に
なんですから



フロボイスの時
千年前も
同じよーな事
言ってたぞ
お前

今度はほんとの
ほんとはずって



ほら



この星は、
ずっと昔に
一度死んで……



体が癒された今も、
心は失われたままです

僕達は今から
この星の心にな
るんですよ……
ひとつになって、
ずっと一緒に。



ひとつになって
……ずっと……

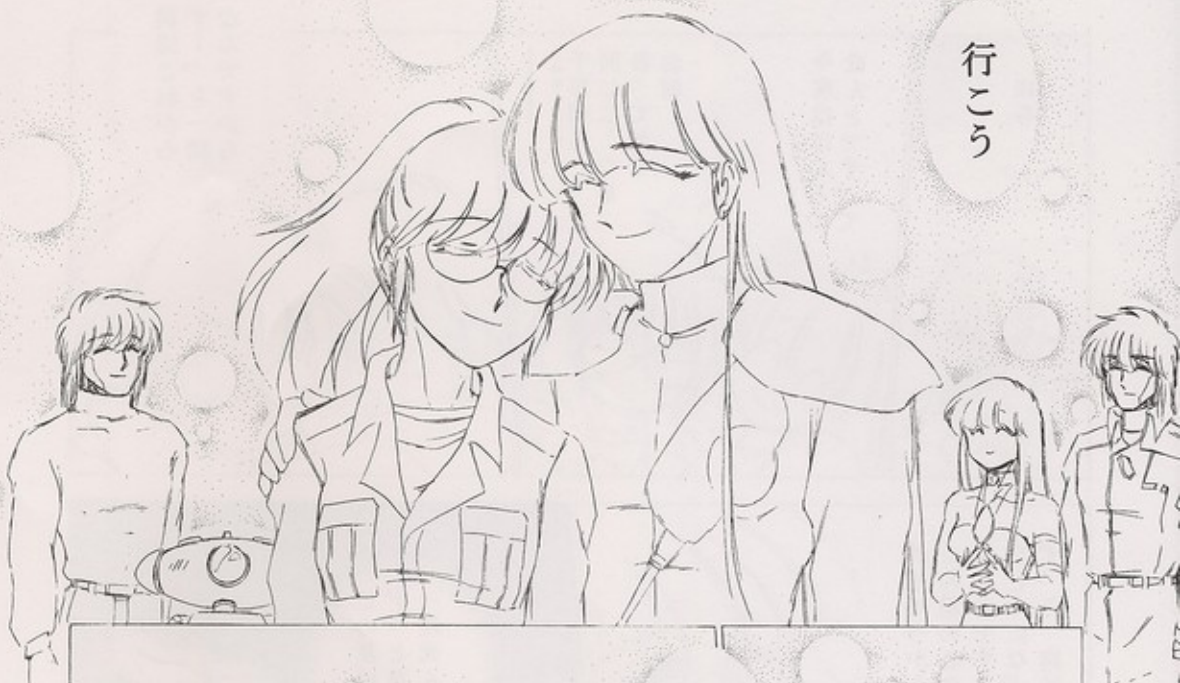


ずっと

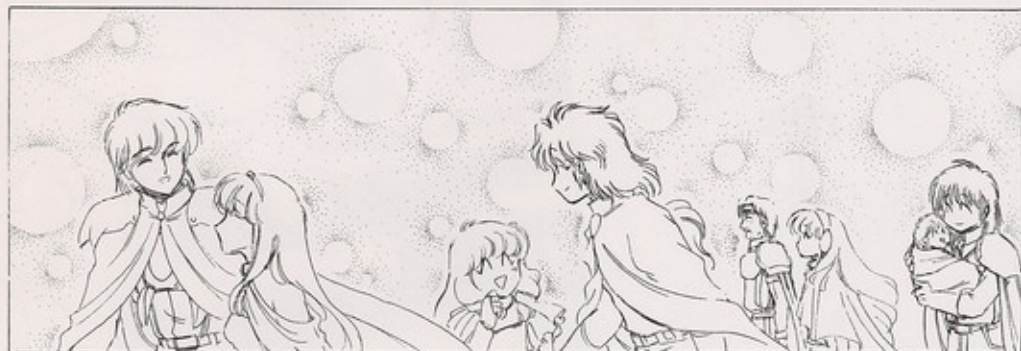
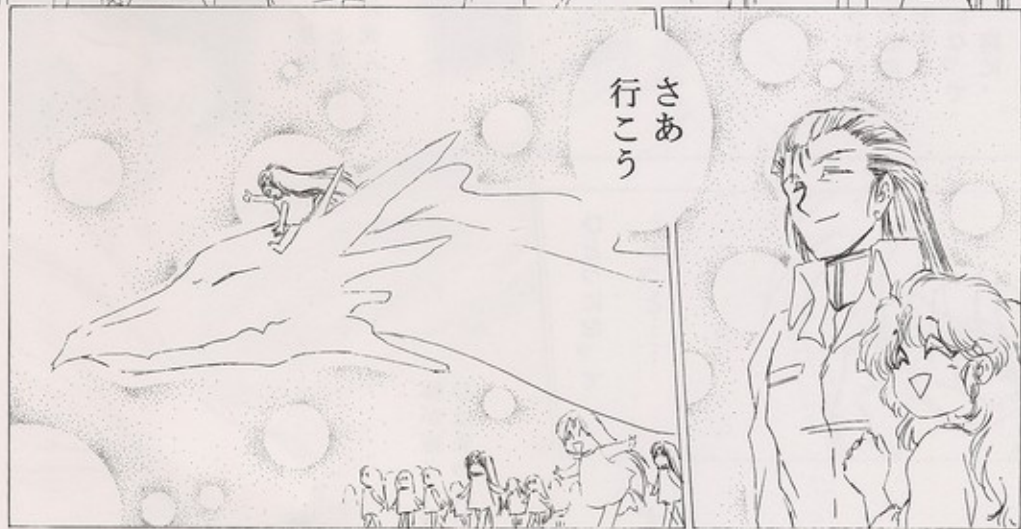
一緒に

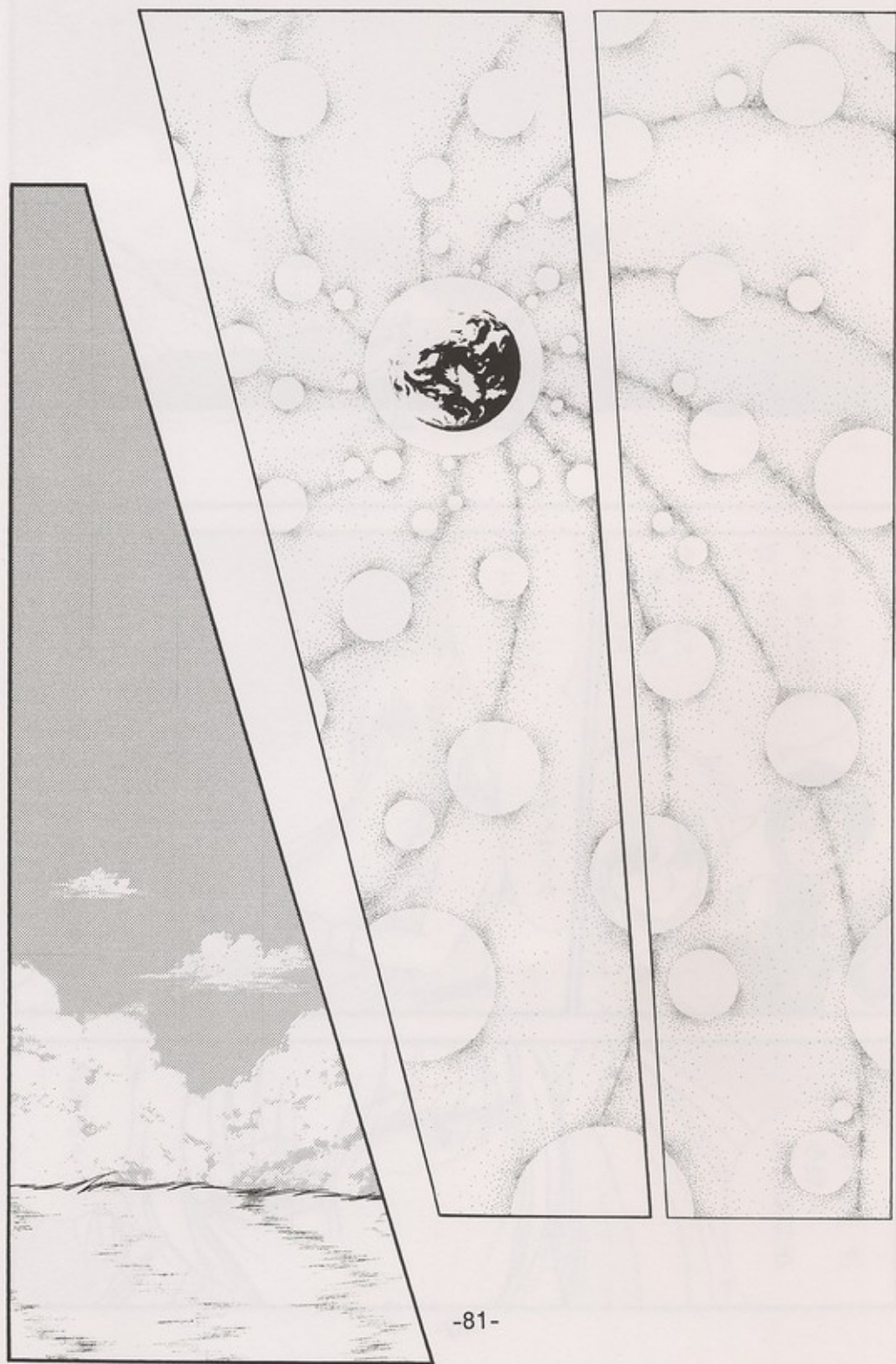


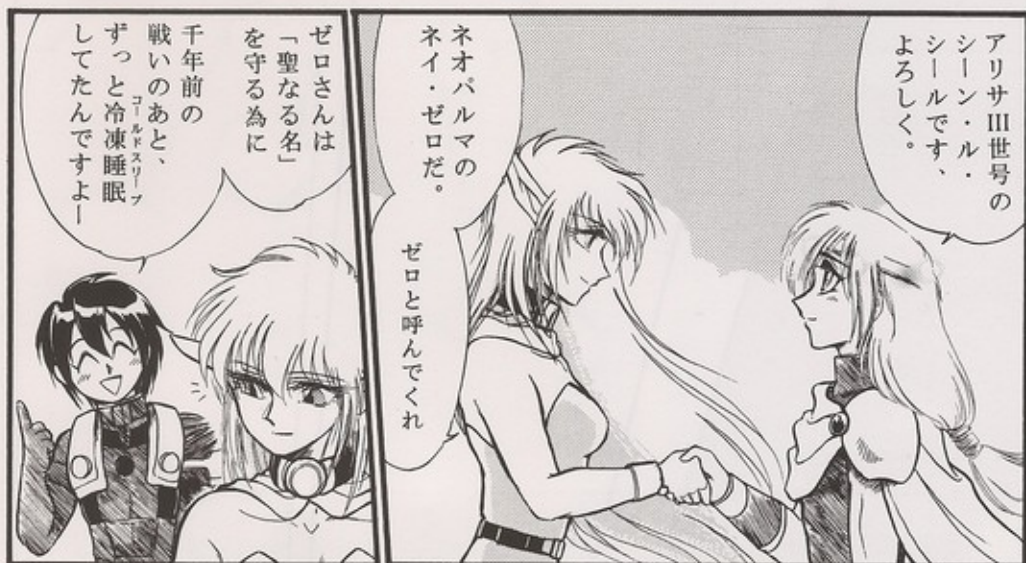
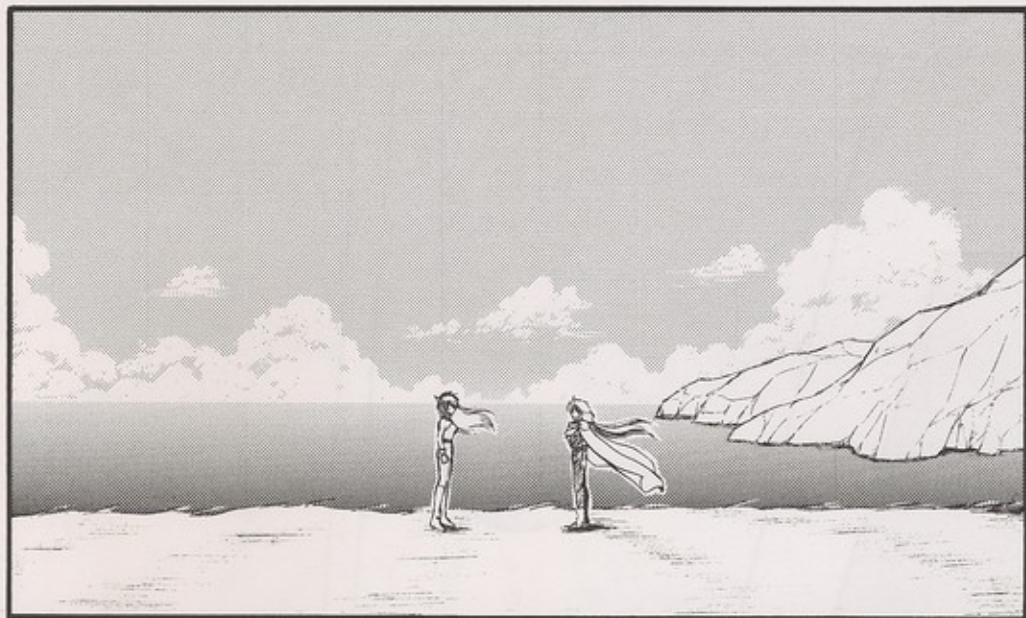
行こう



さあ
行こう







聖なる名
「ネイ」は
相応しい者に
受け継がれたの
だから…



生態系も…
安定するには
まだまだ
かかるでしょう



この星は、
我々の祖先が
旅立った後
一度壊滅的な
ダメージを
受けた様です

かつての
文明の痕跡は
ほとんど
残っていません

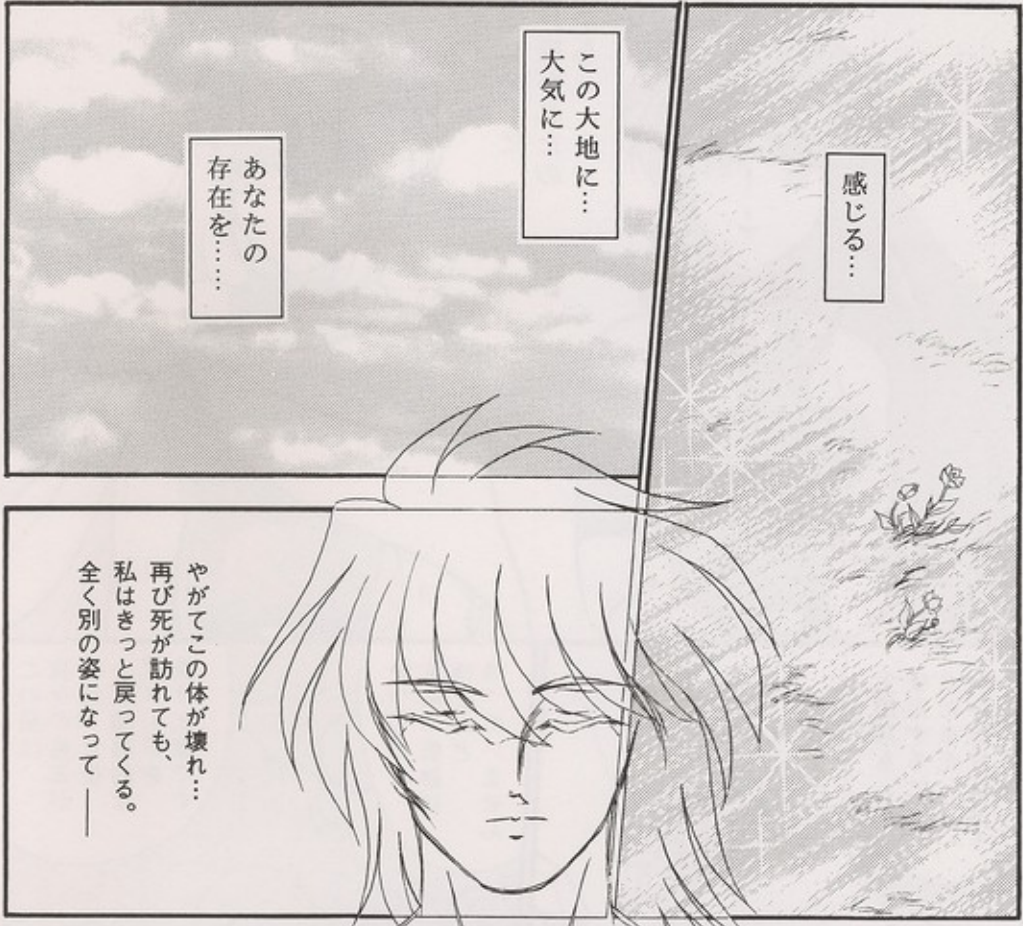


初めてなのに、
とても懐かしい…



でも、中々
いいカンジだぞ
足りない分は
根性で補え!

ええ、
ほんとに




感じる…

この大地に…
大気に…

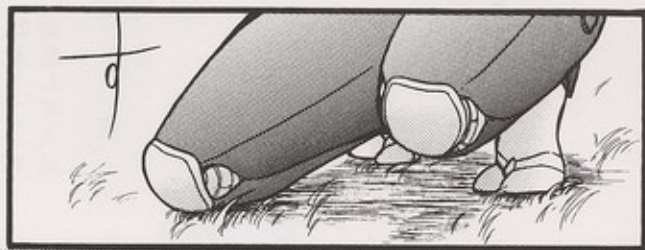
あなたの
存在を…

やがてこの体が壊れ…
再び死が訪れても、
私はきつと戻ってくる。
全く別の姿になって――



あなたは…
あなた方は…

この星そのものに
なったのですね



ならば

私はこの星に
仕えよう——



この星と——
——そこに生きる
すべてのものに

——そしていつか

私自身も……

そしてお前が私を見つけたなら、その時こそ



ずっとそばにいるよ、
お前が土に還り、世界が終わるその日まで

ねえ、
お話しして！

いつもの
あのお話を

さらわれた姫を
助けるお話！

竜の王子様と
お姫様のお話！

月の王子様と
鋼の姫のお話！

ねえ、僕達
どこから来たの？

あの星空の
彼方から…

ねえ、私達
どこへゆくのか？

あの星空の彼方へ
今度は胸を張って
旅立つために

——そして
伝説は終わり、
歴史が始まる





「地球へ」「地球へ帰るんだ」
私がずっと心の中で言い続けた言葉。
描き始めた時は、こんな事になるとは思わなかった。
描いている間も、どこまで行けるか分からなかった。
いつまでたっても下手なままの進歩のなさに
少しずつ読んでくれる人が減ってゆく寂しさに
あらゆる自分のダメさにのたうっても。
描き続けた11年で多くのものを失っても。
これだけはどうしても譲れない。
これは私に残された最後の砦。
だから、何があっても私はシーン達と地球に帰りたいかった。
そして今、旅の終わりに。
今度は私はこう言わなければ。
「ここからまた、新しい旅に出よう」
遠く見果てぬファンタシースターへ…

今まで長い間…

ほんとうに長いあいだ

ありがとう……

奥付

発行者 富永 明子= (ま) (まんが同好会)
印刷所 しまや出版様
発行日 2002.08.10
連絡先 〒168-0063 杉並区和泉3-36-5-6

次号予告

最終戦争伝説 総集編・上下巻 (A5版・各368p↑) 2003夏刊行予定